させないことが重要である。遊休農地が発生する背景には複数の要因が絡み合っているため、実態を把握し、農地の特性を理解したうえで、集約化を図るなど解消に努められたい。

〈監査委員事務局〉

・監査の審査方法や書類の内容、提出方法などについては、固定化することなく、常に改善を視野に入れ、業務にあたられたい。

## 監査の結果に対する措置

令和6年度に実施した監査結果に基づき講じた措置について、茂原市教育長から通知がありました。内容は、次のとおりです。

◆監査の種類　定期監査

◆措置年度　令和7年度

〈教育委員会　スポーツ振興課〉

【監査結果】

・第2次茂原市スポーツ推進計画の基本理念である「市民ひとり1スポーツ」の実現に向けては、各スポーツ団体や様々なスポーツ活動、市内民間スポーツ施設の種類や数、会員数の把握など様々な指標を設けることによる適格な現況把握に努められたい。

【措置内容】

・第3次茂原市スポーツ推進計画（R8～12年度）では、基本理念及び3つの基本目標について5年後の数値目標を定め、その達成状況を把握するため毎年度、施策評価を実施し審議会の中で報告をしていく。施策評価実施にあたっては、適切な指標設定を行い進行管理していく。

【監査結果】

・市民が安全にスポーツやレクリエーションを楽しみながら健康増進を図るため、スポーツ環境の更なる充実に取り組まれたい。

【措置内容】

・第3次茂原市スポーツ推進計画（R8～12年度）では、「スポーツ環境の整備と情報発信」を1つの基本目標として定め、スポーツ施設の整備・充実のほか、予約システムの構築、都市公園の整備、学校施設や旧学校施設の開放、スポーツ情報の提供などを行うことでスポーツ環境の更なる充実に努めることとした。具体的には令和8年4月から予約システムが稼働し利用者の利便性の向上が図られるほか、富士見公園の庭球場や野球場の改修が予定されていること、更にはスポーツ情報提供の充実を図ることなどにより、ソフト面とハード面の両面からスポーツ環境の更なる充実に努めていく。

〈教育委員会　美術館・郷土資料館〉

【監査結果】

・バーチャルミュージアムやバックヤードツアーの実施など様々な事業に積極的に取り組むことで美術館・郷土資料館への来館者数は着実に増えてきており、市民の認知度は高いものと伺える。開館30年を経て、今後も市内外を問わず一層多くの人に来てもらえるよう、郷土ゆかりの作家のみならず、幅広い分野の作品展示会などについて再度検討されたい。

【措置内容】

・取り上げるべき作家の範囲を広げることは、当館の役割と今後の集客を考える上で、大きな意義を持つものと考える。作家の活動水準、知名度を絞り込むには、県美術協会等の協力を得る必要があり、今後、当館協議会に諮り、検討を進める考えである。

【監査結果】

・展示解説会については、展示作品等を間近に見ながら学芸員が分かりやすく解説することで展示会の見所や作品の魅力に触れることのできる良い機会であることから、実施回数を増やすなど学芸員の知識の更なる有効活用を検討されたい。

【措置内容】

・本年度より、美術収蔵品展の解説会は、1回の展覧会において3回程度に増やし実施している。参加者には好評であり、本年度の実施回数で継続し、学芸員の知識を有効活用していく。

【監査結果】

・美術館・郷土資料館は茂原公園内に立地しており、不特定多数の人が出入りできる環境にあることから、来館者の安全や貴重な美術品等を守るため、館外に防犯カメラを設置するなど都市整備課とも連携を図りながら、防犯環境の整備に尽力されたい。

【措置内容】

・館内には24時間記録できる8台の防犯カメラがあり、事務室にモニターがある。他に、防犯として、警備会社の機械警備を設置しており安全に努めている。館外の防犯カメラの設置については、予算を伴うため関係部署との連携を図り防犯環境の整備を図っていく。

問合せ
監査委員事務局（9階）
☎(20)1560　FAX(20)1607

**令和8年3月定例会が2月25日㈬から開催されます**

詳しい日程は、QRコードからご確認ください。

また、定例会は、インターネット中継にて配信しています。ぜひご視聴ください。

▲ネット中継

▲日程

問 議会事務局（3階）
☎(20)1585　FAX(20)1611